

月刊 桜井シュウ

三ツ星議員★★★★

立憲民主党兵庫県第6区総支部 政務活動報告

- 防衛増税で防衛力強化になるのか?
- 子ども子育て政策を提案!
- アメリカの人権団体が来訪
- 4年連続「三ツ星国会議員」の表彰

桜井 周 (さくらい しゅう)

[学歴] 美鈴月影幼稚園、鈴原小、南中、県立伊丹高、京都大、京都大院修士、ブラウン大院修士
[職歴] 国際協力銀行、弁理士、市議会議員(2期)、衆議院議員(2期目)
[資格] 弁理士、国会議員政策担当秘書試験合格
[家族] 妻、長女、次女、犬(トイプードル)



2023年

2月号

防衛費倍増か、子育て予算倍増か?

今年の通常国会は1月23日から6月21日までの150日間の日程で召集されました。防衛増税、少子化対策、物価高対策、賃金の底上げなどがテーマになります。

少子化が深刻化すれば日本国民が減っていき国家が消滅しかねません。急激な人口減少は社会制度に大きな負担をもたらします。したがって、立憲民主党は子ども子育て支援予算(子ども予算)を提案してきました。岸田総理も、昨年1月からの通常国会では子ども家

庭庁設置法案の審議において子ども子育て支援予算(子ども予算)の倍増を謳いました。しかし、来年度予算案では子ども予算はほとんど増えていません。

一方で、昨秋の臨時国会閉会後に突然、防衛費倍増とそのための増税を政府与党(自民党・公明党)が決定しました。岸田内閣では、子育て予算の確保が後回しにされた感がありますが、桜井シュウは少子化対策を力強く推進するため子ども予算の確保を提案してまいります。

春季議員インターンシップがスタート!

次の世代を担う若者には社会の課題に関心を持ち、その課題解決に能動的に取り組んでほしいと願っています。しかし、若者は政治に無関心といわれ、選挙の投票率は高齢世代の約半分です。そこで、桜井シュウは、

若者に社会課題と政治に関心を持ってもらうために、毎年、大学の春休みと夏休みに議員インターンシップを実施しています。今春で24回目の実施になります。

防衛増税で防衛力強化になるのか？

北東アジアの厳しい情勢を踏まえれば防衛力増強は必要です。しかし、2022年度当初予算で5.2兆円だった防衛予算が、今後5年間で43兆円と金額だけが独り歩きしています。本来は、我が国の防衛に必要な人員・装備を積み上げて予算になります。それが身の丈を越えた金額が先に示されれば、ムダ遣いが横行しかねません。

これまでも、政治的な思惑（トランプ大統領に買え！と言われた等）で技術的に無理筋な事業で税金がムダ遣いされることがありました。無理筋な事業を続ければ、予算だけでなく人員もムダ遣いとなり、防衛力強化どころか弱体化になりかねません。

失敗例1 イージス・アショアがイージス搭載艦という迷走

陸上配備型のミサイル防衛システムのイージス・アショア（陸上イージス）は当初1基800億円程度と言っていたものが、陸上設置は技術的に困難として海上配備のイージス搭載艦になり、現時点では2,500億円との見積もりです。それなら最初からイージス艦の追加購入の方が安上がりでした。また、運用についても実績があり効率的に行えました。今後はイージス艦とイージス搭載艦の2種類のシステム運用ですから非効率になります。

失敗例2 建設費が大幅増額の辺野古基地建設

沖縄県にあるアメリカ海兵隊の普天間飛行場の移設先として沖縄県名護市辺野古での基地建設費は当初3,500億円との政府見積もりが既に9,000億円に増大しています。さらに、軟弱地盤を考慮すれば2～3兆円かかるとの試算（沖縄県）もあります。

今回の防衛三文書改訂および来年度以降の予算では、12式地对艦誘導ミサイルの長射程化（200km→約1,000km）、極超音速ミサイル（マッハ5以上）開発・量産、次期戦闘機開発、サイバー部隊、衛星コンステレーション（多数の人工衛星による情報収集）など中にはアメリカでもできていないものも含まれており本当に日本の技術力でできるのか、大風呂敷を広げて予算と人員のムダ遣いに終わってしまい防衛力強化に繋がらないのではないかと懸念します。桜井シュウは、本物の防衛力強化のために、弾薬の充実や潜水艦探知能力向上など防衛力向上に直結しかつ実現可能な事項から進めることを提案しています。

組織体制強化は人材育成から！

装備を増強するなら、装備を運用する人員の増強もセットで進める必要があります。一方で、自衛隊の充足率は約93%と慢性的に人員不足です。特にイージス艦乗組員の育成は急務です。にもかかわらず、来年度予算案では人件費はほとんど増えていません。

桜井シュウは、堀井泰蔵中部方面総監の統率方針「部隊を強く、隊員を幸せに」を引用しつつ、自衛隊員の処遇改善、自衛官の再就職斡旋強化（退職年齢が55歳と早い）などを通じて人員を増強することを提案しています。また、パワハラ・セクハラの根絶など隊員の幸せ実現を通じて真に強い部隊の育成を提案しています。



中部方面隊 訓練展示 (2022年10月)

子ども子育て応援政策を提案!

日本社会の活力や社会保障制度などを維持するためにも、若い世代が大幅に少ない状況は好ましくありません。桜井シュウは、安心して子どもを産み育てられる社会を創るために力を尽くしてきましたので、昨年、岸田総理が表明した「異次元の少子化対策」「子育て支援予算倍増」に大いに期待しました。しかし、未だにその概要が不明です。ならば、桜井シュウが以下のような子育て支援政策を盛り込むように提案していきます。

子ども子育て応援政策

- ・児童手当を高3まで延長、所得制限撤廃
- ・学校給食無償化など義務教育での負担軽減
- ・「子どもコミッショナー制度」で子どもの権利を保障
- ・保育士・教員の処遇改善で、保育・教育の質を向上
- ・住宅手当で安心の子育て・教育環境を創出

日本の少子化の主な原因は、かつての一億総中流社会が崩壊し、子育て世帯に子どもを育てるための経済力が不足していることです。子どもの7人に1人は貧困状態です。そして、大学生のうち約半分が奨学金(ローン)を借りて

おり、卒業時には300万円程度の借金になります。この借金の返済が終わるまでは、結婚・出産は考えにくいでしょう。

かつては就職するなら正社員が当たり前でしたが、最近は労働法制の規制緩和により非正規雇用、特に派遣労働が増加しており、3人に1人は非正規雇用です。給料は上がらず、いつ解雇されるか分からず、将来の展望が開けないので、結婚・出産は難しくなりつつあります。

2009年に成立した民主党内閣は、こども手当の創設を提案しましたが、自民党が強硬に反対したため中途半端な実施となりました。さらに、自民党内閣に戻った後、所得制限が設けられました。このとき、団塊ジュニア世代(1学年で約200万人)が30歳代半ばであともう一人産めるかどうかという時期でした。第三次ベビーブームを起こすことはできず、少子化が加速しました(2022年の出生数は80万人を下回る見通し)。子ども子育て支援での失われた10年は我が国にとって大きなダメージです。桜井シュウは、この遅れを少しでも取り戻すべく力を尽くしてまいります。

【報告】ユダヤ系人権団体が来訪



サイモン・ヴィーゼンタル・センター

ユダヤ系の人権団体であるサイモン・ヴィーゼンタル・センター(SWC)はアメリカ・カリフォルニア州ロサンゼルスでホロコースト(ナチスによるユダヤ人虐殺)の展示などを行う人権団体であり、インターネット上でのヘイトスピーチを監視する活動も行っています。

今回は、SWCのクーパー副所長の来日の際に桜井シュウを訪問いただき、意見交換しました。東アジアでは、それぞれの国で隣国を罵倒するような言説がインターネットで溢れている現状を憂慮する意見をいただきました。インターネット世界では世論が分断される傾向にあります。それを上回る努力で融和を図る必要性を確認しました。

【報告】4年連続で「三ツ星国会議員」の表彰!

桜井シュウは、2017年10月の衆院選で初当選し、以来、国会の内外で精力的に活動してまいりました。外交、財政、金融、地方自治、教育、子育て、新型コロナウイルス感染症対策などの政策を提案しました。国会議員の活動状況を

評価する政策評価NPO(代表はジャーナリストの田原総一郎氏)によって、桜井シュウの国会活動を評価いただき、2018年から2021年まで4年連続で「三ツ星国会議員」の表彰を受けました。

【案内】青空対話集会毎月第4日曜日に開催!

政治家の演説は一方通行で市民が意見を言う機会がない、「聞く力がある」と政治家が言っても、結局のところボス議員や利権の声しか聞かず、市民の声が届かない。そんな市民の政治への失望を希望に変えたい。桜井シュウは、毎月第4日曜日に青空の下で市民と対話する集会を開催します。是非、ご意見をお寄せ下さい。

開催概要 毎月第4日曜日に宝塚・川西・伊丹で開催
2月26日、3月26日を予定しています。なお4月23日は市議選投票日につき中止。

11:00～12:00	宝塚駅前ゆめ広場
14:00～15:00	川西能勢口駅アステ川西北側陸橋
16:00～17:00	阪急伊丹駅前北側ロータリー前

感染症流行状況により中止となる場合があります。また、屋外での集会ですので、**雨天の場合には中止**しますので、予めご了承下さい

三ツ星議員★★★★とは

それぞれの国会議員の働きぶりを国民のみならず、また知っていただくために、政策評価NPOが国会議員の働きぶりを議員立法の提案、本会議・委員会での質問、質問主意書などについて客観的に評価しています。桜井シュウは、三ツ星国会議員として、4年連続表彰されています。

発行 立憲民主党兵庫県第6区総支部長・衆議院議員

桜井 シュウ

〒664-0858 伊丹市西台5-1-11

TEL▶072-768-9260

FAX▶072-768-9261

e-mail▶sakuraishu.office@gmail.com

URL▶https://www.sakuraishu.net

引越しました!



桜井シュウの政治活動へのご協力をお願い

●ポスティング

伊丹市・宝塚市・川西市の各ご家庭に配布しております。ご近所周辺など可能な範囲・枚数だけで結構ですので、ご協力をお願い致します。

●ポスター掲示

ご自宅の塀・外壁、駐車場のフェンスなどに桜井シュウのポスターを貼って下さい。またご近所に人通りが多く、ポスターを掲示していただけたらご紹介します。

●政治献金

一人でも多くの方に国政報告をお届けするために、カンパをお願い致します。お振込みいただく場合は、恐れ入りますが手数料のご負担をお願い致します。
(※個人献金ができるのは日本国籍を持つ方に限られます。)

■お振込先:

三井住友銀行 伊丹支店 普通4719556「桜井周後援会」
ゆうちょ銀行 00970-8-332979「周山会」

ご意見・ご相談、お気軽にご連絡下さい! ※直接書き込んで(別の様式でも可)ファックスやメールで送り下さい。

お名前▶

お電話番号▶

ご意見▶

CP 立憲民主
The Constitutional Democratic Party of Japan

立憲民主党
立憲民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区
永田町1-11-1
TEL 03-6811-2301
FAX 03-6811-2302
兵庫県第6区版